

Vitae教材

研究者のリーダーシップ

研究者のための リーダーシップ入門

本編は、研究者が、PI やグループリーダーとなって研究チームを率いる際に発揮すべきリーダーシップの理論やスキル、行動、そして資質について、シリーズで紹介する「研究者のためのリーダーシップ入門（Introduction to Research Leadership）」の一部です。

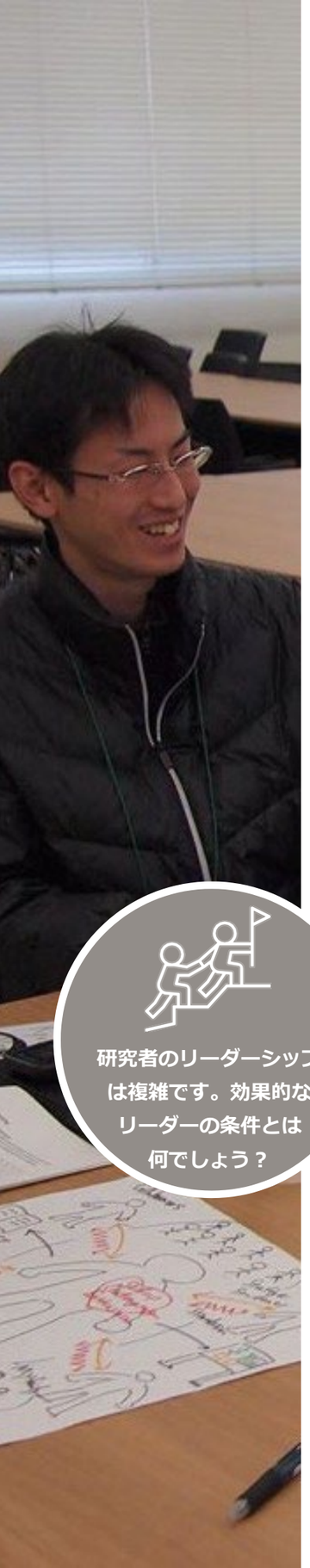
この教材は、世界中の研究者の専門性とキャリア開発を支援する英国の非営利団体 Vitae によって作成され、独学可能な実用ガイドとして設計されています。必要に応じて個々のパーツだけ取り上げてもよいですし、ご自分のペースに合わせながらシリーズ全てを網羅的に学ぶこともできます。

リーダーシップとは

本編を最大限に活用するために、あなたにとってリーダーシップとは何かについて、少し時間を取って考えてみることをお勧めします。

まず、コンセプト全体を考えてみましょう。リーダーは何をする人、あるいは何をすべき人なのでしょうか？あなたはどのようなリーダーを尊敬していますか？有能なリーダーはどのような行動をとるべきでしょうか？リーダーシップとマネジメントとを区別するものは何でしょうか？これらを定義づけようとすると混乱するかもしれません。そこで、あなたの職場でリーダーシップとマネジメントをうまく区別する方法を提案します。

優れたリーダーシップの本質や、有能なリーダーがどのように行動すべきかについては、さまざまな考え方がありますが、本編はあなたの考え方にひとつの刺激を与えるものとお考えください。



研究者のリーダーシップは複雑です。効果的なリーダーの条件とは何でしょう？

以下の引用文を読んでみてください。あなたは、これらの考え方にどの程度同意しますか？またその理由は何ですか？あなたにとって、リーダーシップとは何ですか？効果的なリーダーとはどのような人だと思いますか？これらに正しい答えはありません。

「かつては、リーダーシップとは腕力を意味していましたが、今日では人々と良好な関係を築く力を意味します。」インディラ・ガンディー（第 5 代、8 代インド首相）

「リーダーシップとは、ほかの誰かにやってもらいたいと思い、その人物もやりたいと思っていることをやらせる工夫なのです。」ドワイト・アイゼンハワー（第 34 代米国大統領）

「場所を指定して、そこへ誰かを行かせることがリードすることではありません。自らその場所に行き、ものごとを進めさせることでリードするのです。」ケン・キージー（アメリカ作家）

「最高のリーダーは、その存在を人々にほとんど意識されないものです。ことが終われば彼の目的も達成されます。人々はこう言うでしょう『自分たちでこれを成し遂げた』と。」老子（古代中国哲学者）

「リーダーになるまでの成功とは、自分自身を成長させることです。リーダーになったときの成功とは、他人を成長させることに尽きます。」ジャックウェルチ（アメリカ実業家ビジネスリーダー）

「大臣に命令を出すとき、私は彼に任せることで実行する手段を知るのです。」ナポレオン・ボナパルト（フランス皇帝）

「他人のではなく、自分自身の過ちを見いだすことが肝要だ。」徳川家康（江戸幕府初代征夷大将軍）

「毎日の積み重ねでリーダーシップは獲得するものだ。」マイケルジョーダン（NLB 元プロバスケットボール選手）

上記の引用文について、あなたはどう感じましたか？
あなたの考えるリーダーシップと、効果的なリーダーとはどのようなものですか？またその理由は何ですか？あなたの考えを以下に書いてください。

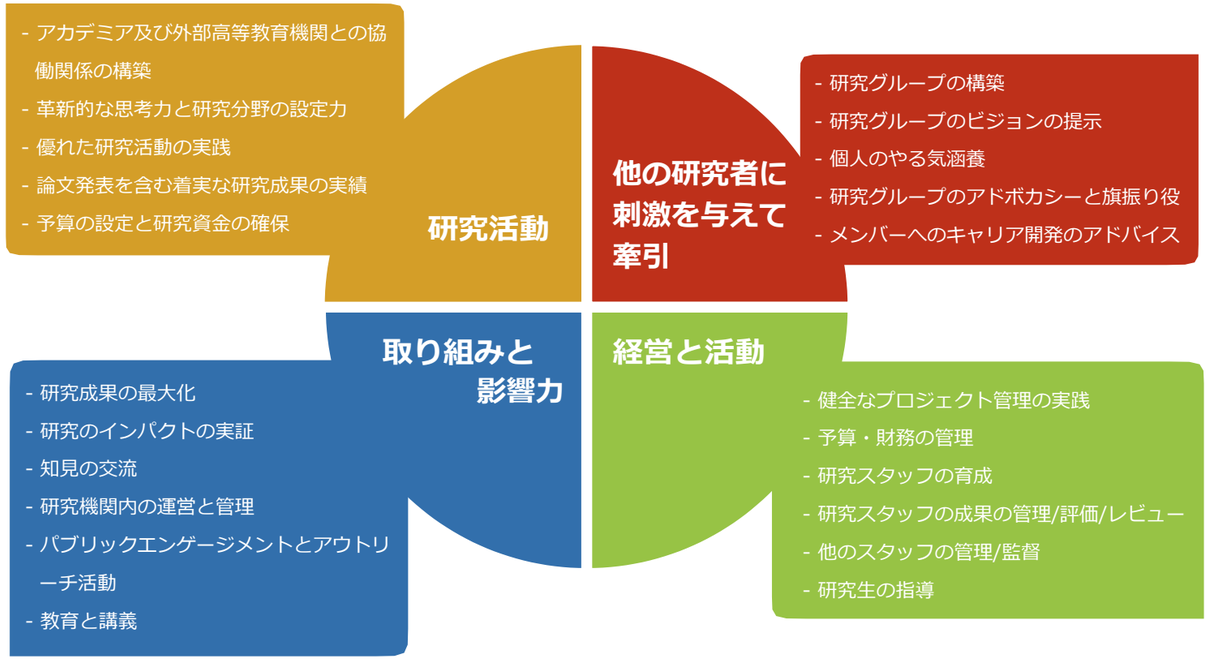
英語オリジナル版 : Published by Vitae © 2021 The Careers Research and Advisory Centre (CRAC) Limited
和訳版 : © 2023 Japan Science and Technology Agency

Vitae リーダーシップガイドブック ： 研究者のリーダーシップ

研究リーダーの役割

研究リーダーの役割は複雑多岐にわたります。本編では、うまくやれる研究リーダーの視点を学ぶために、さまざまなモデルを参照しながら演習を行います。Vitae RDF の各ドメインにも触れながら、Self-leadership（自己統率力）が研究者のリーダーシップの基礎となることを理解していきましょう。

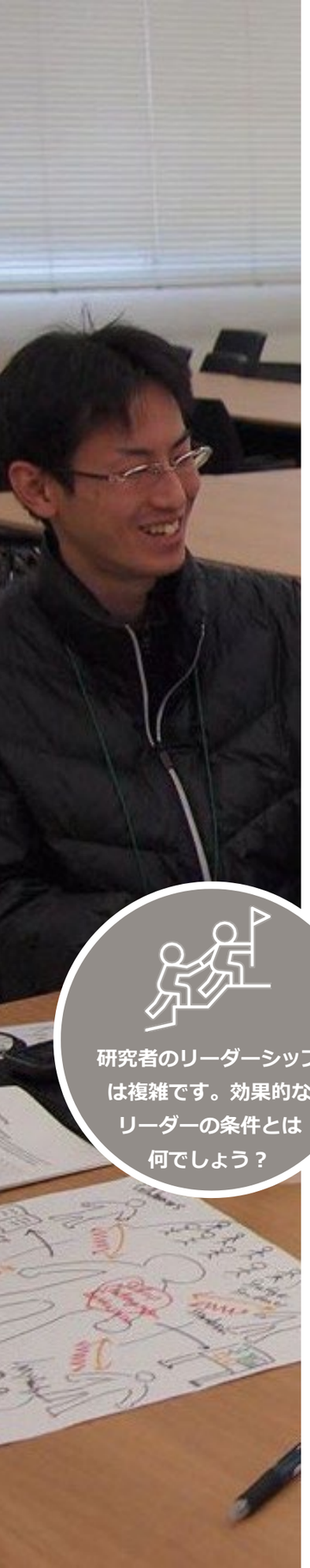
下の図は、研究リーダー[1] の多様な役割を表したものです。
図が示すように、4 つの領域にグループ化できます。



さらに詳しく知りたい方は、Vitae のプロジェクトの一環として現役の学術研究リーダーの考えをまとめた資料[2] をご参照ください。

1.Adapted Source: Principal Investigators and Research Leaders Survey 2017
2.Denney, F., Mitchell, A., & Wheat, K. (2015). 'Developing the next generation: Guidance and good practice in the development of early career researchers and academics'. The Careers Research and Advisory Centre (CRAC) Limited.www.vitae.ac.uk/vitae-publications/guides-briefings-and-information/developing-the-next-generation-vitae-brunel-lfhe-2015.pdf

英語オリジナル版 : Published by Vitae © 2021 The Careers Research and Advisory Centre (CRAC) Limited
和訳版 : © 2023 Japan Science and Technology Agency



さまざまな責任を果たすために、自分の能力をどのように向上させていけばよいのかを考えることは、大変なことです。まずは、自分のキャリアを振り返り、何を優先的に伸ばすべきかを考えることから始めましょう。

演習（ご自分のこれまでを振り返ろう）

あなたは研究者としてのリーダーシップをどの側面から伸ばしたいと思っていますか？

また、自分にとってあまり好ましくないと思うリーダーシップとは、どのようなものでしょうか？それはなぜでしょうか？

研究リーダーとして諸々の重要事項を管理するための深掘りは、「4. 研究チームの牽引」を参照してください。

英語オリジナル版 : Published by Vitae © 2021 The Careers Research and Advisory Centre (CRAC) Limited
和訳版 : © 2023 Japan Science and Technology Agency

Vitae リーダーシップガイドブック ： 研究者のリーダーシップ

リーダーシップ確立のための準備：Self-leadership（自己統率力）

Self-leadership（自己統率力）は、リーダーに必要な能力です。自己啓発に常に前向きに取り組むことは、Self-leadership の基礎と言えます。

もし時間管理ができていなければ、研究の進捗に支障をきたし、キャリアアップの妨げになります。時間管理がきちんとできている人は、Self-leadership が備わっているといえるでしょう。研究リーダーの役割において、時間管理は最も重要な役割の一つです。

自己管理も、研究戦略を考えるうえでは重要な能力です。ほとんどの組織には戦略目標があり、数年後のある姿を設定しています。そして各戦略は、自分たちの組織が置かれた状況を明確に理解したうえで、目標を実現するための道筋といえるでしょう。その背景を踏まえて意思決定を行っていくことが、戦略的なリーダーシップなのです。

あなたがリーダーではなく、戦略目標に対してあなたの関与が小さく間接的だとしても、戦略的な背景を理解しておくことは、Self-leadership を身につけるために必要です。所属機関のリーダーが設定したミッションと戦略を把握し、意識を高く持つことは、Self-leadership の向上ならびに目標達成に役立つでしょう。例えば、助成金を申請する立場にある研究者は、研究分野、政府、スポンサー候補、大学や学部の横断的な戦略の方向性を認識し、これらを踏まえたうえで、資金申請をする必要があります。

演習（ご自分のこれまでを振り返ろう）

Vitae の RDF では、「B2 自己管理」の次の記述子が、Self-leadership に重要であるとされています。

準備と優先順位付け（戦略的思考を含む）/ 研究への献身 / 時間管理 / 変化への対応 / ワークライフバランス

次のページでは、あなたのキャリアステージでうまくいっている自己管理とはどのようなものか振り返ってみてください。あなたはどの程度達成できていますか？あまり深く考えずに自分の直感を信じて、改善するために必要だと思うことを書き出してみてください。そして、明確な目標とそれにむけたスケジュールを設定してみましょう。

英語オリジナル版 : Published by Vitae © 2021 The Careers Research and Advisory Centre (CRAC) Limited
和訳版 : © 2023 Japan Science and Technology Agency

自己管理 記述子	説明（フェーズ 2）	自分は何がうまくいっているか？	改善すべき点は？	目標：私は今までと違うこととして何をするのか？	目標達成のための私のアクション（いつまでに）
B2.1 **準備と優先順位付け**	プロジェクトを戦略的に捉え、優先順位を付け、計画を立て、先を見据えて行動することができる。				
B2.2 **研究への献身**	研究の妨げになる可能性があるものに対し、内容を評価し、うまく対応することができる。献身的に、自分の研究と研究成果の向上を固たる目的と定めて励んでいる。				
B2.3 **時間管理**	独自の時間管理システムを確立している（予定通りにプロジェクトを遂行し、柔軟に対応している）。				
B2.4 **変化への対応**	変化に適応し、リスクとチャンスのバランスをとることができる。 助言と確認を求めるべきタイミングを心得ている。				
B2.5 **ワークライフバランス**	ワークライフバランスを保ち、プレッシャーに対処することができる。 同僚や経験の浅い研究者にかかるプレッシャーに気づき、その管理を助けることができる。				

Vitae とその会員制プログラムは、独立した登録慈善団体である **Careers Research and Advisory Centre (CRAC) Limited** によって運営されています。CRAC 登録慈善団体番号 313164.

英語オリジナル版 : Published by Vitae © 2021 The Careers Research and Advisory Centre (CRAC) Limited
和訳版 : © 2023 Japan Science and Technology Agency

さらに研究者のリーダーシップについて知りたい場合は、以下のサイトをご参照ください。
www.vitae.ac.uk/vitae-publications/rdf-related/leadership-lens-on-the-vitae-researcher-development-framework-rdf-april-2012.pdf